

令和7年度 門真市立こども発達支援センター 指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】： 令和6年度

1. 総則

指定管理者	門真市立こども発達支援センター共同事業体
事業期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
管理体制	<p>○ 門真市立こども発達支援センターは、3つの社会福祉法人による共同事業体として運営しています。実際の運営にあたっては、代表法人と構成法人が役割を分担し、構成法人のアドバイザーと月1回の協議を行いながら、円滑な運営を進めています。</p> <p>○ センターの組織体制は、「通園グループ」と「地域支援グループ」の2つに分かれています。通園グループは、発達に特性のあるお子さんが、日々の活動を通じて成長できるよう支援を行っています。また、地域支援グループは、地域の子どもや保護者、関係機関への支援を行い、発達をはじめとするお子さまの障がいに関する相談や情報提供などを実施しています。</p> <p>○ センターでは、心理士(心の発達や行動の支援)、言語聴覚士(ことばやコミュニケーションの支援)、理学療法士(身体の動きや運動機能の向上支援)、作業療法士(手先の動きや日常生活の動作支援)、看護師(医療ケア児コーディネーター)、保育士・児童指導員(子どもの成長や学びの支援)の多職種の専門職がいます。 この多職種が連携しながら、子ども一人ひとりに合わせた適切な支援を提供するとともに、地域全体の発達支援の拠点としての役割を果たしています。</p>
職員の勤務状況	勤務時間①午前8時15分～午後5時15分、②午前8時30分～午後5時30分 年末年始・祝日・土日を除く平日

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	募集要項、業務仕様書に基づく ○ 「児童発達支援(個別療育を含む)」 午前8時30分～午後3時 【個別療育】 午前9時～午後5時 ○ 「放課後デイサービス」 午後2時～午後5時 ○ 「居宅訪問型児童発達支援」 午前9時～午後5時 ○ 「保育所等訪問支援」 午前9時～午後5時 ○ 「障がい児相談支援」 午前9時～午後5時 ○ 「計画相談支援」 午前9時～午後5時 ○ 「基本相談支援」 午前9時～午後5時	○ 同左の開館時間に各種指定管理業務等を実施している。 ○ センター見学においては、直接受け入れることを実現した。(これまででは、いったん門真市健康増進課による調整が必要で、利用者はセンターに直接電話しても、再度、同課にも電話連絡の必要がありました。)	○ センター見学については、利用者の負担軽減がされています。
	受付・案内	募集要項、業務仕様書に基づく	総合相談窓口を開設しました。(令和6年7月)	多岐にわたる相談を受ける窓口を開設し、ワンストップサービスを提供できるようになりました。
	料金設定	市条例に基づき徴収	市条例に基づき徴収	市条例に基づき徴収

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

広報・宣伝	募集要項、業務仕様書に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ センターの活動や支援内容について、ホームページやICTシステムを活用して情報提供を実施しました。 ○ 具体には「おがスマ」システムを導入し、利用者が施設の最新情報(バス運行状況、訓練予定など)を確認できるようにしました。 ○ 門真市の広報紙や自治体の広報媒体を通じて、センターの事業を周知しました。 ○ 保護者会やふれあいの会を開催し、直接の意見交換を行う場を提供しました。 ○ 利用者向けのしおりや重要事項説明書をホームページに掲載し、情報の透明性を確保しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTシステムの導入により、利用者への情報提供の利便性が向上し、保護者からも好評を得ています。 ○ 一方で、「情報が分かりにくい」「広報の発信頻度を増やしてほしい」といった意見もあり、さらなる改善の余地があります。 ○ 門真市の広報紙などを活用した情報発信は一定の効果を上げています。 ○ 今後においても、視覚的に分かりやすい資料の作成や、SNSの活用など、多様な広報手段を検討し、より多くの人に情報が届くよう工夫する必要があります。
-------	----------------	---	--

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	基本協定書、募集要項、業務仕様書に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常清掃は、専門の清掃スタッフ(門真市民プラザ指定管理者)による定期清掃が実施され、施設内外の清潔さを維持しています。 ○ 管轄する管理物品等については月1回、環境整備の日と位置付け、保守点検を行い、設備の劣化や破損箇所の早期発見と迅速な対応に努めています。 ○ 園庭遊具点検を専門業者に依頼し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な清掃および保守点検の体制は整備され、利用者からは「清潔」「安心して利用できる」との評価を得ています。 ○ 利用者アンケートでは、施設全体の清掃状態に対して高い評価を得る一方、広いエリアや一部特定箇所(例:給食エリア周辺の壁、遊具の隅など)に関して改善要望が寄せられています。 ○ 全体として、保守点検は計画に沿って実施され、施設全体が高い安全性と快適性を維持できていると評価しています。
	修繕	基本協定書、募集要項、業務仕様書に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車の修繕:古くなった自転車は新車へ更新し、職員の地域へのアウトリーチが容易になり、家庭訪問や関係機関との連携が促進されました。 ○ 吊り遊具の修繕:感覚統合に係る遊具(プラットホームスイング)を再設置し、作業療法士が前庭機能の評価ができるようになりました。 ○ 安全対策の強化:木製の角に対する衝突防止材を購入し、事故防止と利用者の安全確保に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修繕作業は、随時気付いたら直ちに実施し、利用者の安全性および快適性の向上に寄与しています。 ○ 自転車の新車購入により、管内の移動手段としての信頼性が向上し、事故リスクの軽減が図られました。 ○ 遊具のスイング設置は、作業療法士の評価や子どもたちの遊びの幅を広げるとともに、利用者満足度の向上に貢献しています。 ○ 木製の角への防止材設置は、安全対策として効果を発揮し、事故防止の取り組みができました。 ○ 今後においても、さらなる安全対策の強化や、利用状況に応じた定期的な点検・メンテナンスを継続することで、長期的な安全運営を実現していく必要があります。

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数・利用料金	募集要項、業務仕様書に基づく	<p>利用者数: ○ 令和6年度においては、センターの利用者数は安定して推移しており、継続的に多くのご家庭にご利用いただいています。 アンケート回答からも、利用者や保護者の中でセンターのサービスに対する信頼と満足が示されています。</p> <p>利用料金: ○ 支払い方法として、銀行の自動引き落としや振込が採用され、利用料金の管理や支払いが円滑に行われています。</p>	<p>利用者数: ○ 安定した利用者数の維持は、センターの運営体制やサービス内容への高い信頼性を反映しています。利用者アンケートの結果からも、センターの提供する支援や施設環境に対する満足度が高いことが伺え、今後も現状の運営方針が支持されると考えられます。</p> <p>利用料金: ○ 利用者は、分かりやすく便利な支払い方法を評価しており、料金システムの円滑な運用が実現しています。 ○ 今後も、利用者ニーズの変化を踏まえた分かりやすい情報提供を強化していくことで、さらなる満足度向上につなげていきます。</p>
	利用率	具体的な数字は記載なし	<p>○ 利用率については、協定書等に明記されていないものの、日々の来訪記録やプログラム参加状況、利用者アンケートなどを通じて、継続的かつ安定した利用が確認されています。</p> <p>○ 親子療育、親子交流イベントなど各サービスにおいて、利用者の参加率は高く、ニーズに応じたサービス提供を実現しています。</p> <p>○ 利用者からのフィードバックをもとに、施設内のサービス運営状況や利用環境の改善状況を随時把握していますので、運営体制の柔軟な調整に役立っています。</p>	<p>○ 利用率の数値目標は設定されていないものの、利用者数の安定・向上や高い参加率、利用者満足度の評価から、実質的に十分な利用が達成されていると評価しています。</p> <p>○ 定性的なデータ(アンケートや利用者の声)により、サービスの実効性や利用率の高さが裏付けられており、利用者のニーズに応える運営ができています。</p>

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
指定管理業務	児童発達支援	基本協定書第10条、業務仕様書9、募集要項3(1)に基づく	<p>○ 児童一人ひとりの発達段階に応じた個別療育および集団療育を提供し、基本的な生活習慣や社会性の向上を支援しました。</p> <p>○ 集団療育では、児童3人に対して1名の支援者を配置し、就園・就学に向けた支援を行いました。</p> <p>○ 保護者との連携も密にし、家庭での療育方法についての助言を行いました。</p> <p>実績： ・【集団療育月平均利用数】 4月26名 5月24名 6月26名 7月25名 8月26名 9月27名 10月27名 11月27名 12月27名 1月33名 2月32名 3月33名 【ふれあいの会】 11回 【保護者向け勉強会】2回(障害特性・歯科) 【相談援助】 4月36回 5月39回 6月38回 7月28回 8月33回 9月38回 10月38回 11月32回 12月33回 1月41回 2月39回 3月38回</p>	<p>○ 年間を通じて個々の発達段階に応じた支援を提供でき、児童の生活習慣や社会性の向上が見られました。</p> <p>○ 専門職員のスキル向上が引き続きの課題であり、研修参加の促進やケーススタディの共有を強化することで、療育の質向上を図る必要があります。</p> <p>○ 今後も保護者支援の強化を図ることで、家庭での療育の継続性を高め、支援効果をより長期的なものにすることが求められます。</p>
	放課後等デイサービス	同上	<p>○ 本年度は個別療育のみを実施し、児童一人ひとりの発達状況や特性に応じた支援を提供しました。</p> <p>○ 言語聴覚士・臨床心理士・作業療法士・保育士等の専門職が連携し、ソーシャルスキル・学習・生活スキル向上を目的とした個別支援を実施しました。</p> <p>○ 保護者との相談機会を設け、家庭での関わり方について助言を行いました。</p> <p>実績： ・ 放課後等デイサービス利用児童数:6名(1日あたり1~2名) ・ 個別療育実施回数:平均8回/月 ・ 保護者向け相談・支援回数:6件/月</p>	<p>○ 利用者の社会適応能力の向上が見られ、学校や家庭での行動改善の報告が増加しました。</p> <p>○ 利用希望者が定員を超えることがあり、今後の受け入れ枠の拡大や強化が必要です。</p> <p>○ 個別療育を通じて児童の発達に応じた細やかな支援ができた一方で、集団活動を通じた社会性の向上が課題として挙がりました。</p> <p>○ 来年度からの集団療育導入に向け、プログラムの設計や職員の研修を進め、円滑な実施を目指す必要があります。</p> <p>○ 保護者との連携を引き続き強化し、家庭と施設の支援が一貫したものとなるよう工夫していきます。</p>

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

指定管理業務

居宅訪問型児童発達支援	同上	<p>○ 居宅訪問型児童発達支援を提供する体制を整え、専門職の配置や訪問支援の準備を進めました。</p> <p>○ しかし、今年度は利用希望者がなく、実際の訪問支援の実施には至りませんでした。</p> <p>○ 保護者や関係機関への周知を行い、支援が必要な家庭に情報を届ける取り組みを行いました。</p> <p>実績： ○ 訪問支援希望者数:0名 ○ 相談対応件数:0件(居宅訪問に関する相談) ○ 関係機関への周知活動回数:2回</p>	<p>○ 訪問支援の体制は整備できたものの、今年度は実際の利用ニーズがありませんでした。</p> <p>○ 今後もニーズの変化に備えて支援体制を維持するとともに、関係機関や保護者への情報提供を継続し、必要な方に届く支援を目指します。</p> <p>○ また、訪問支援に対する潜在的なニーズがある可能性を考慮し、保護者や関係機関との意見交換を行い、より利用しやすい支援体制を検討していきます。</p>
保育所等訪問支援	同上	<p>○ 保育所や幼稚園を訪問し、発達に課題のある児童が集団生活に適應できるよう支援しました。施設の職員と連携し、環境調整や支援方法の助言を行いました。</p> <p>実績： ○ 保育所や幼稚園、小学校等を訪問し、7名の児童を対象に毎月平均11回の支援を実施</p>	<p>○ 施設側との連携が深まり、支援児童の集団適應能力の向上が見られました。</p> <p>○ 支援依頼の増加に伴い、訪問件数の増加に伴う職員の業務調整が課題となっています。</p> <p>○ 今後は訪問支援の効率化を図るとともに、施設職員向けの研修を実施することで、支援の充実を目指します。</p>
障がい児相談支援	同上	<p>○ 0歳～18歳の障がい児とその家族を対象に、年間49件の相談支援を実施しました。</p> <p>○ 発達検査(実施数4件)や意見書の作成を通じて、適切な療育・福祉サービスの提供につなげました。</p>	<p>○ 相談件数の増加により、支援計画の策定やモニタリングの重要性が高まりました。</p> <p>○ 今後は相談支援員のスキル向上を目的とした研修の実施や、相談受付体制の強化を図ることで、より充実した相談支援を提供していきます。</p>
計画相談支援	同上	<p>○ 障がい児の個別支援計画の作成およびモニタリングを年間47件実施しました。</p> <p>○ 計画の策定に際しては、保護者や関係機関と連携し、児童一人ひとりの発達状況に応じた適切な支援が受けられるよう調整しました。</p>	<p>○ 計画策定の精度が向上し、より児童のニーズに即した支援が実施できました。</p> <p>○ しかし、計画のモニタリング頻度や評価の方法をさらに充実させることで、支援の質をより向上させる必要があります。</p> <p>○ また、保護者の意向を反映する仕組みを強化し、継続的な支援の確立を目指します。</p>

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

指定管理業務	基本相談支援	同上	<p>○ 障がい児やその保護者からの相談に対応し、発達や生活面での困りごとについて適切な支援につなげるための情報提供や助言を行いました。</p> <p>○ 相談内容に応じて、関係機関(保健・福祉・教育・医療)と連携し、必要なサービス利用や支援計画作成につなげました。</p> <p>○ 保護者が相談しやすい環境を整えるため、来所相談・電話相談・オンライン相談など、多様な相談方法を用意しました。</p> <p>実績:</p> <p>○ 相談対応件数:52件</p> <p>○ 関係機関との連携支援数:25件</p>	<p>○ 相談支援を通じて、保護者の不安軽減や適切な支援への橋渡しの役割を果たしました。</p> <p>○ 相談件数の増加が見られ、支援のニーズが高まっていることが確認されましたが、相談対応の負担増加や対応時間の確保が課題となっています。</p> <p>○ 今後は、相談支援体制の強化(相談員のスキル向上・支援方法の見直し)や、保護者向けの情報提供の充実(支援制度の説明会開催、FAQの作成など)を進め、より効果的な相談支援を目指します。</p>
	保育所等発達支援事業	同上	<p>○ 保育所、幼稚園、認定こども園、小学校などに対し、年間を通じて巡回訪問支援を実施し、発達の気になる子どもに対して、安心して集団生活を送れるよう、環境調整や指導・助言を行いました。</p> <p>○ 30施設・488名の児童に対して、臨床心理士や公認心理師が専門的な視点から観察・助言を行うため166回巡回しました。</p> <p>○ 教職員や保育士等との連携を重視し、子どもの特性に応じた具体的な対応策を提案することで、現場の支援力の向上にも寄与しました。</p>	<p>○ 巡回訪問施設・児童数ともに高い実績を維持しており、地域の療育支援体制の中核としての役割を果たすことができました。</p> <p>○ 教職員や保育士からも「適切なアドバイスがもたらした」「支援の方向性が明確になった」などの肯定的な評価が多く、専門性の高さが現場に浸透しつつあります。</p> <p>○ 一方で、巡回回数増加によりスタッフの業務負担が高まっていることや、訪問支援の継続的な質の維持が今後の課題となっています。</p> <p>○ 今後は、訪問支援の効果をさらに高めるために、支援記録の整理・活用の強化や、保育士・教員向け研修との連動を図り、より持続可能かつ発展的な体制を整備していく必要があります。</p>
自主	預り事業	令和6年度事業計画書に基づく	<p>○ 朝の預かり事業を実施し、保護者の負担軽減を図りました。</p> <p>○ 登園前の時間帯(8時30分～10時)に希望する児童を預かり、安全に過ごせる環境を提供しました。</p> <p>○ 個々の児童の特性に配慮し、静かな環境で過ごせるスペースや遊びの時間を確保しました。</p> <p>○ 保護者からの要望に応じて、柔軟な対応を心掛けました。</p> <p>実績:</p> <p>○ 【朝の預かり事業】</p> <p>4月7名 5月7名 6月8名 7月7名</p> <p>8月5名 9月6名 10月8名 11月8名</p> <p>12月7名 1月9名 2月11名 3月11名</p> <p>○ 保護者アンケートにおける満足度: 「満足」または「概ね満足」と回答 82.4%</p>	<p>○ 利用者数は安定しており、保護者からも「安心して仕事ができる」などの好意的な意見が多く寄せられました。</p> <p>○ 一方で、早朝の人員確保や運営コストの継続的な管理が課題となっています。</p> <p>○ 今後は、利用状況を見ながら必要に応じて人員配置の見直しを検討し、持続可能な運営体制を構築していく必要があります。</p>

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

事業	こどもカフェ	同上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちがリラックスできる場として「こどもカフェ」を運営し、自由に過ごせる時間を提供しました。 ○ おやつや昼食の提供を通じて、食事の場面での社会性向上や食育の機会を設けました。 ○ 児童同士の交流の場としての役割を果たし、コミュニケーションの機会を広げることができました。 ○ 食物アレルギーなどに配慮し、安全な運営を徹底しました。 <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こどもカフェの開催回数:14回 ○ 利用児童数(延べ):47名 ○ 保護者アンケートにおける満足度:「満足」または「概ね満足」と回答100% 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「こどもカフェ」を通じて、児童の居場所づくりや社会性の向上に寄与しました。 ○ 児童同士の交流が活発になり、「楽しかった」「また参加したい」といった声が多く聞かれました。 ○ 今後はより多様な活動を取り入れ、食育の充実や、より多くの児童が参加しやすい環境づくりを進めていくことが課題です。 ○ 食材の調達や運営コストのバランスを考慮しながら、持続可能な運営方法を模索する必要があります。
----	--------	----	--	--

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

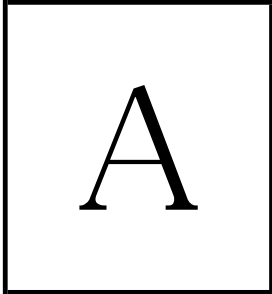
項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他	職員研修	令和6年度事業計画書に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要に応じて職員間で情報共有を行い、支援の質を向上させるよう努めています。 ○ 研修については、各種専門職があることから、自己研鑽として外部研修への参加や学びの機会を個々の職員が活用できるようにしています。 ○ 今後も、職員のスキル向上を目的とした研修の機会を実施できるようにしてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現時点では、体系的な研修計画は未策定であり、個々の職員が主体的に学び。技量向上に努めています。 ○ 今後も、研修を通じて支援の質を向上させるため、職員が学びやすい環境を整備し、必要な研修の機会を提供してまいります。
	個人情報保護	基本協定書第22条、業務仕様書13、募集要項5(3)に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人情報の取り扱いについては、各職員が基本ルールを理解し、適切に対応できるよう努めています。 ○ 書類管理は施錠可能なキャビネットを利用し、机上に置いたままにならないように管理しています。 ○ 個人情報に関する外部からの問い合わせには、適切な手順に従い、必要な範囲での対応を行っています。 ○ 今後、不要になった個人情報を含む書類は、適切に裁断・処分してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な個人情報保護の取り組みは実施できており、これまで大きな問題は発生していません。 ○ ただし、個人情報に関する具体的なマニュアルの整備や、職員向けの研修を実施することで、さらに適切な管理ができると考えられます。 ○ 今後は、引き続き職員全体が個人情報に対する取扱いに留意し、意識向上と適切な運用を図ります。
	情報公開	基本協定書第23条、業務仕様書13、募集要項5(4)に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設のしおりや重要事項説明書をホームページで公開し、いつでも利用者が確認できるようにしています。 ○ 保護者会との懇談会を年1回以上実施し、コミュニケーションを図りながら透明性を確保しています。 ○ 利用者が必要とする資料については、常に情報提供を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報公開の基本方針は遵守されており、利用者からの問い合わせ対応も概ね良好です。 ○ しかし、ホームページの更新頻度や掲載内容の分かりやすさに改善の余地があります。 ○ 今後は、より視覚的に分かりやすい資料作成や、ホームページ等の充実を図れるよう検討します。
	緊急対応	基本協定書第21条、業務仕様書8(9),14(5)(6)、募集要項5(7)に基づく	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、避難訓練を実施し、火災・地震・不審者対応のシミュレーションを実施しています。 ○ 緊急対応マニュアルを整備し、各職員の役割を明確化しています。 ○ AED・応急処置の研修も実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訓練の実施率は高く、職員の対応力は一定の水準に達していると評価しています。 ○ ただし、実際の場面を想定したロールプレイ形式の訓練が不足しており、実践的な対応力向上が必要であると思われます。 ○ 今後は想定外の事態への対応力を強化するため、実際の状況に即した対応訓練を増やしてまいります。

事業達成度評価 コメント

事業達成度評価

本年度、当センターは多職種連携を活用した支援事業を計画通りに実施し、利用者や保護者から高い評価を得る成果を上げました。特に、ICTシステムの導入による情報提供体制の強化、迅速かつ丁寧な対応による信頼感の醸成、そして安全で清潔な施設環境の維持が、事業達成の大きな要因となっています。

一方で、施設設備のアップデート、預かり事業の柔軟な時間設定、及び職員のさらなる対応力向上など、利用者からの具体的な改善要望も確認されました。これらのフィードバックを踏まえ、今後も利用者のニーズに即した事業の充実と、持続可能な運営体制の確立に努めてまいります。



凡例：事業達成度評価の区分

- A： 協定事項等に定める水準を上回っている
- B： 協定事項等に定める水準と同程度である
- C： 協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2)利用者満足度の分析・評価

項目	回答結果・対応状況	分析
実施方法 回答者数	1 アンケートの目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設や設備の充実度、利用のしやすさの確認 ・ 職員対応や利用料金に関する満足度の把握 ・ 実施事業の改善・充実化に向けた意見収集 2 アンケート実施期間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年1月31日(金)～令和7年2月21日(金) 3 アンケートの回答方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインでの回答、及び紙での回答を実施しました。 4 回答数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 65回答 	/
施設・設備の充実度	<ul style="list-style-type: none"> ○ センター(内・周辺)は、清潔に保たれていますか？ → 非常に満足58.5%、満足40%、不満足1.5% ○ センターの建物内の雰囲気は、居心地の良いものですか？ → 非常に満足38.5%、満足61.5% ○ 必要な設備や備品は十分に揃っていますか？ → 非常に満足35.4%、満足56.9%、不満足7.7% (対応状況) ○施設内は清潔に保たれており、多くの利用者が清掃状態に満足されています。 ○建物の雰囲気も概ね良好だが、一部に「トイレの設備が不足」といった意見がありました。 ○玩具や備品の更新が少ないという声があり、今後は利用者ニーズを踏まえた導入を検討する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清潔さに関しては評価が高く、維持することが重要と考えます。 ○ 施設の雰囲気について薄暗く感じるとの声もありましたので、照明の見直しや明るい色調をベースとして必要に応じて個々に改善を検討します。 ○ 玩具や備品(偏光用カーテン、個室トイレのアルコール消毒の設置、おむつ替えスペースや子ども用トイレの便座)のアップデートが課題であります。

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

1・利用者アンケート調査	<p style="text-align: center;">施設の利用のしやすさ</p>	<p>○ センターの情報は分かりやすく、入手しやすいですか？ →非常に満足23.4%、満足70.3%、不満足6.3%</p> <p>○ センター利用の相談、問い合わせ、見学等の予約などの手順はいかがですか？ →非常に満足34.4%、満足60.9%、不満足4.7%</p> <p>○ センターを利用するにあたっては、利用しやすいものでしたか？ →非常に満足35.4%、満足64.6%</p> <p>(対応状況) ○「おがーるシステム」の導入により、利用しやすさが向上したとの意見が多いです。</p> <p>○ 年間予定を4月に出してもらえるとありがたいです。</p> <p>○ 何度も足を運ぶのが不便です。一方で、親子通園は大変とを感じるが必要な時間であったと思います。</p>	<p>○ ICTシステムの導入は利便性向上に寄与していると考えます。</p> <p>○ 今後も手続きの簡素化や問い合わせ対応の強化が求められます。</p> <p>○ 今年度から総合窓口相談、ワンストップを実施していますが、引き続き利用者がスムーズに相談できる環境を引き続き整えていくことが重要です。</p>
	<p style="text-align: center;">職員の対応・態度</p>	<p>○ センター職員の対応は丁寧でしたか？ →非常に満足43.1%、満足55.4%、不満足1.5%</p> <p>○ センター職員の案内や説明は分かりやすかったですか？ →非常に満足38.5%、満足60%、不満足1.5%</p> <p>○ センター職員の態度や言葉遣いに好感が持てましたか？ →非常に満足43.1%、満足56.9%</p> <p>(対応状況) ○ 多くの利用者が「職員の対応は丁寧である」と評価されています。</p> <p>○ 一方で、一部の職員について「言葉遣いがきつい」「対応が事務的」と感じる声もありました。</p>	<p>○ 全体的には好意的な評価が多いですが、職員の対応にバラつきがあるため、引き続き接遇やコミュニケーションの向上に向けた取組みが必要であります。</p> <p>○ 特に初めて利用する保護者への配慮を強化して、さらに満足度の向上を求めていきたいと考えています。</p>
	<p style="text-align: center;">利用料金</p>	<p>○ お支払方法は分かりやすく、便利でしたか？ →非常に満足27.7%、満足52.3%、不満足3.1%、非該当16.9%</p> <p>(対応状況) ○ 口座引き落としの導入により、「支払いが便利になった」との意見が多くありました。</p> <p>○ 一方で、「雑費が高い」「送迎加算を取らない理由が不明」などの意見もありました。</p>	<p>○ 支払い方法の利便性向上は評価されており、今後も継続が望まれます。</p> <p>○ 雑費の詳細や送迎に関する説明が不足している可能性があります。今後も正確で透明性のある情報提供に努めていきます。</p>

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

利用時間	<p>○ ご利用時間は適切だと感じましたか？ →非常に満足26.2%、満足66.2%、不満足7.6%</p> <p>(対応状況) ○ 利用時間について「適切」との意見が多いです。一方で、共働き世帯などから「延長保育がほしい」「朝の預かり時間を早めてほしい」との要望がありました。</p>	<p>○ 保護者のニーズに応じた柔軟な対応が求められています。</p> <p>○ 早朝や夕方への預かり事業の拡充を検討することで、利便性向上につながる可能性があります。</p>
実施事業の充実度	<p>○ センター全体に対する満足度を教えてください。 →非常に満足37.5%、満足59.4%、不満足3.1%</p> <p>(対応状況) ○ 親子療育やふれあいの会など、保護者同士の交流機会がある点を評価する声が多いです。ただし、「ふれあいの会の内容をより実践的なものにしてほしい」などの意見もありました。</p> <p>○ 支援内容は変わらずに新しい取り組みを導入して頂いたり、保護者の意見を尊重して今までセンターのやり方を変更して頂いたりして、子どもや保護者に寄り添って運営して頂いている姿勢をととても感じる事ができました。</p>	<p>○ 現在の事業は一定の評価を得ていると思われませんが、今後も内容の見直しや保護者ニーズの把握をしっかりと利用者ニーズに対応していきたいと考えています。</p> <p>○ そのためにも、保護者が求める内容を反映する形で事業を改善していき、より一層の満足度向上につなげてまいります。</p>

	主な意見・要望等の内容	対応状況等
2. 市民等からの意見・要望等	情報の分かりやすさの向上	○ICTシステム(アプリ)を導入し、利用者への情報提供が改善しました。 ○同システムの活用により、訓練やバス運行情報の確認がスムーズになりました。
	職員の対応の質向上	○職員の接遇について、丁寧な対応を意識するよう指導を徹底し、挨拶や親しみやすい対応を心がけることで、利用者からの好意的な意見が増えました。
	預かり事業の実施	○朝の預かり事業を導入し、利用者の利便性が向上しました。仕事を持つ保護者へのサポートとして好評を得ています。
	支払い方法の利便性向上	○口座引き落としを導入し、利用者の負担軽減を実現しました。「振込が便利になった」「引き落としが助かる」との肯定的な意見が多数ありました。
	センター全体の運営改善	○指定管理者としての運営体制が安定し、新しい取り組みを導入しました。「支援内容は変わらず、さらに新しい取り組みがあって良い」「当初の不安が安心感に変わった」との意見が多数ありました。

利用者満足度評価 コメント

利用者や保護者の方からは、当センターの施設環境の清潔さや安全性、職員の丁寧な対応、そしてICTシステムを活用した迅速な情報提供などに対して高い評価が寄せられています。

一方で、施設設備のアップデート、利用時間の柔軟性、給食内容の改善など、今後のサービス向上に向けた具体的な改善点についてもご意見をいただいています。これらのことを踏まえ、引き続き利用者のニーズに寄り添い、安心してご利用いただける環境づくりに努める所存です。

(3) 収支状況の分析・評価

収入の部

(単位:千円)

		予算額	実績額	実績 - 予算	備考	
委託料		164,803	164,803	0		
利用料金等	施設利用料	0	403	403		
	事業収入	児童発達支援	99,341	89,111	-10,230	
		放課後等デイサービス	28,891	862	-28,029	
		居宅訪問型児童発達支援	1,510	0	-1,510	
		保育所等訪問支援	3,751	1,077	-2,674	
		障がい児相談支援	4,800	1,123	-3,677	
雑入	その他の収入	0	2,572	2,572		
収入合計		303,096	259,951	-43,145		

支出の部

(単位:千円)

大項目	小項目	予算額	実績額	予算 - 実績	備考
人件費	給与費	196,551	175,766	20,785	
	福利厚生費	1,200	2,704	-1,504	
	法定福利費	32,579	24,530	8,049	
	賃金等	0	0	0	
事務費	印刷費	480	183	297	
	通信費	1,050	459	591	
	保険料	600	373	227	
	事務用品費	600	1,993	-1,393	
	旅費交通費	300	127	173	
	賃借料	7,700	2,717	4,983	
	その他雑費等	23,360	3,205	20,155	その他雑費・保守料、研修費、手数料、渉外費、諸会費、雑費
管理費	業務委託費	29,176	36,516	-7,340	
	光熱水費	1,650	766	884	
	修繕費	500	667	-167	
	燃料費	900	656	244	
物件費	備品購入費	0	15,474	-15,474	
事業費	事業費	6,400	4,092	2,308	
公租公課	租税公課	50	20	30	
支出合計		303,096	270,248	32,848	

収支(実績ベース)

259,951 - 270,248 = -10,297

収支状況評価コメント

(実施状況コメント)

- 令和6年度の収入実績は、総額で259,952,030円となり、予算額303,096,000円に対して約85.8%の実績率でした。
- 児童発達支援は概ね予算に近い実績を上げたものの、放課後等デイサービスや居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、障がい児相談支援などの収入は大きく予算を下回る結果となりました。
- 初期投資として予定していた消耗品費備品費の一部をリースから購入に変更したことで、支出構成にも一定の調整を要しました。

(達成度分析のコメント)

- 収入全体の実績は一定程度確保されているものの、放課後等デイサービスおよび相談支援関連の低収入は、当初想定した事業規模との乖離を示しており、今後の事業展開の充実が必要と考えています。
- 児童発達支援については高い稼働率を維持しており、事業運営の中核として安定しています。
- また、収入実績と併せて、サービスの質や利用者満足度が高いという定性的な評価も得られていることから、今後は財務的な実績とサービス実施内容とのバランスを意識した運営を図ってまいります。
- 令和6年度は開設初年度であったことから、令和5年度の準備経費の人件費等も支出に含まれており、令和6年度のみとして考えると運営の収支が保たれていると考えています。